



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,950	13.0	361	24.9	320	0.6	226	20.2
28年3月期第1四半期	1,725	64.6	289	230.8	318	273.1	188	306.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 67百万円 (△71.9%) 28年3月期第1四半期 241百万円 (374.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	9.96	—
28年3月期第1四半期	8.28	—

当社は平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	6,751	2,795	41.4	122.83
28年3月期	7,122	3,016	42.4	132.37

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 2,795百万円 28年3月期 3,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当9円00銭 記念配当1円00銭 (創業10周年記念配当)

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,131	9.3	1,021	△9.7	1,014	△10.9	645	△13.5	28.34
通期	8,633	12.6	2,075	3.1	2,060	3.7	1,377	3.5	60.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	24,740,000株	28年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,980,188株	28年3月期	1,950,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	22,775,307株	28年3月期1Q	22,789,812株

当社は平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、期末発行済株式数（自己株式含む）、期末自己株式数ならびに期中平均株式数は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国が緩やかに景気拡大を続けているものの、中国経済の減速継続や英国が国民投票でEU離脱を決定したことによる世界経済の先行き不透明感から株式市場や為替相場で急激な乱高下が起こる等、不安定な状況となっています。また、我が国経済につきましては、雇用環境の改善が継続しているものの、個人消費が低調に推移したほか、企業の設備投資が伸び悩み、輸出も弱含むなど景気回復への材料が乏しく、急激に進んだ円高の影響も懸念されることから全体として力強さに欠ける展開となっています。

このような経済情勢の中で、医薬品業界におきましては、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

また、当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験（注1）の増加を背景として、市場規模は引き続き緩やかに拡大しております。

このような事業環境の下、当社グループのCRO事業につきましては、日本、アジア、米国、欧州におけるグローバル受託体制の構築を引き続き強力に推し進めており、この進展が国際共同治験の受託案件増加や子会社業績の拡大を伴い売上に大きく貢献いたしました。また、利益面においても売上の増加が、人件費の増加、のれんの償却負担を吸収し、増益となりました。育薬事業につきましては、新薬販売後の臨床研究を中心とした案件の受託により人員の稼働率が上昇した結果、売上及び利益に貢献することとなりました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,950百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は361百万円（同24.9%増）となりました。経常利益は、急激に進んだ円高により外貨預金等に為替差損36百万円が発生したため320百万円（同0.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は226百万円（同20.2%増）となりました。

（注1）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国または地域において同時並行的に行うことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ370百万円（5.2%）減少し、6,751百万円となりました。これは、主に売掛金やのれんが減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ149百万円（3.6%）減少し、3,955百万円となりました。これは、主に短期借入金、前受金等が増加する一方、未払法人税、預り金等が減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ221百万円（7.3%）減少し、2,795百万円となりました。これは、主に自己株式の増加と為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成29年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年5月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成28年3月期末の受注残高に比べ平成28年8月10日時点の受注残高は8.4%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたものの、これを上回る受託案件の新規契約があったことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRA（注）の増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

（注）CRA（Clinical Research Associate）とは、臨床開発モニターと訳されます。医薬品開発段階での治験が、薬事法その他の関連法令及び治験実施計画書を遵守して行われているかどうかを監視（モニタリング）する担当者のことをいいます。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成28年 3月期末 (A)	平成29年3月期		増減率% (B-A)/A	
		第1四半期末	平成28年8月 10日時点 (B)		
受注残高	12,235	11,803	13,256	8.4	
内訳	小野薬品工業	3,907	3,642	3,518	△10.0
	中外製薬	1,525	1,376	2,235	46.5
	塩野義製薬	1,335	1,093	1,031	△22.8
	エーザイ	101	1,011	988	871.1
	その他	5,364	4,679	5,483	2.2

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,909,707	2,921,772
売掛金	1,682,277	1,487,100
有価証券	1,066	-
前払費用	78,641	93,176
繰延税金資産	77,297	27,501
立替金	301,066	263,387
その他	60,858	83,811
貸倒引当金	△110	△124
流動資産合計	5,110,804	4,876,624
固定資産		
有形固定資産	79,327	83,733
無形固定資産		
のれん	1,212,993	1,065,571
その他	256,410	244,907
無形固定資産合計	1,469,403	1,310,479
投資その他の資産		
差入保証金	298,366	290,945
その他	164,274	189,521
投資その他の資産合計	462,641	480,467
固定資産合計	2,011,372	1,874,680
資産合計	7,122,177	6,751,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	477,750
1年内返済予定の長期借入金	139,968	139,968
未払金	268,994	246,982
未払費用	139,359	153,041
未払法人税等	536,854	94,260
未払消費税等	173,089	121,531
前受金	382,421	491,934
預り金	832,837	704,241
賞与引当金	134,918	73,281
その他	45,158	57,001
流動負債合計	2,653,601	2,559,992
固定負債		
長期借入金	1,073,408	1,038,416
退職給付に係る負債	279,535	286,905
その他	98,932	70,331
固定負債合計	1,451,876	1,395,653
負債合計	4,105,477	3,955,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	3,108,663	3,107,647
自己株式	△289,174	△349,954
株主資本合計	3,106,531	3,044,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△81	△543
為替換算調整勘定	△90,953	△249,676
退職給付に係る調整累計額	1,202	1,142
その他の包括利益累計額合計	△89,831	△249,077
純資産合計	3,016,699	2,795,658
負債純資産合計	7,122,177	6,751,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,725,785	1,950,692
売上原価	1,093,654	1,206,019
売上総利益	632,131	744,673
販売費及び一般管理費	343,032	383,563
営業利益	289,098	361,109
営業外収益		
受取利息	169	183
為替差益	31,345	—
その他	—	65
営業外収益合計	31,514	248
営業外費用		
支払利息	2,426	1,438
為替差損	—	36,369
その他	—	3,339
営業外費用合計	2,426	41,147
経常利益	318,185	320,210
税金等調整前四半期純利益	318,185	320,210
法人税、住民税及び事業税	107,011	47,920
法人税等調整額	22,419	45,407
法人税等合計	129,431	93,328
四半期純利益	188,754	226,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,754	226,882

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	188,754	226,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△461
為替換算調整勘定	52,317	△158,723
退職給付に係る調整額	-	△60
その他の包括利益合計	52,317	△159,245
四半期包括利益	241,071	67,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,071	67,637

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。